

平成18年8月10日

会社名 株式会社フェローテック

上場取引所 JASDAQ

コード番号 6890

本社所在都道府県 東京都

(URL <http://www.ferrotec.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 山村 章

問い合わせ先 責任者役職名 執行役員財務経理部長

氏名 山崎 憲一

TEL (03) 3281-8808

1. 19年3月期の第1四半期連結業績(平成18年4月1日~平成18年6月30日)

(注) 1. 本第1四半期財務・業績の概況の数値は、未監査です。

2. 本第1四半期財務・業績の概況の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正を行っていません。

3. 当企業集団の連結子会社及び持分法適用関連会社の第1四半期決算日は3月31日であり、同決算日現在の財務諸表に基づき連結しております。

(1) 連結経営成績

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年第1四半期	7,036	(29.4)	437	(82.0)	293	(111.4)	183	(162.4)
18年第1四半期	5,438	(4.4)	240	(47.7)	138	(52.1)	70	(36.3)
18年3月期	23,946		1,210		1,040		708	

(注) 1. 持分法投資損益 19年第1四半期 26百万円、18年第1四半期 4百万円、18年3月期 79百万円

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 売上高、営業利益、経常利益、第1四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年第1四半期増減率

[連結経営成績の進捗状況に関する定性的情報等] (平成18年4月1日~平成18年6月30日)

当社の主たる事業分野であるエレクトロニクス産業は、サッカー・ワールドカップ開催に伴うデジタル家電需要の盛り上がりに加え、音楽プレイヤーやワンセグTV対応など新しい機能を搭載した携帯電話等の生産も拡大したことで、生産能力増強に向けた設備投資が活発化したほか、電子部品市場も堅調に推移しました。

当社におきましては、各製品とも年初からの好調な受注が続いており、半導体及びフラットパネル・ディスプレイ製造装置向けの真空シールの売上が回復に転じたほか、石英製品やサーモジュールの売上も増加しCMS事業も堅調です。また、足元の受注は、更に増勢を強めております。

この結果、連結売上高は前年同期比29.4%増の70億36百万円、経常利益は前年同期比111.4%増の2億93百万円となりました。当期純利益につきましては前年同期比162.4%の増の1億83百万円となりました。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	
19年第1四半期	35,301		17,231		48.6
18年第1四半期	30,046		14,991		49.9
18年3月期	35,039		17,084		48.8

[連結財政状態の変動状況に関する定性的情報等] (平成18年4月1日~平成18年6月30日)

当第1四半期末の財政状態は、総資産は前期末に比較し2億62百万円増加し353億1百万円となりました。

た。これは、流動資産が6億56百万円増加、固定資産が3億94百万円減少したためです。また、負債合計は前期末に比較し1億79百万円増加し180億69百万円となりました。これは、流動負債が2億9百万円減少、固定負債が3億89百万円増加したためです。純資産合計は前期末に比較し1億47百万円増加し172億31百万円となりました。

(3) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 13社 持分法適用非連結子会社数 7社 持分法適用関連会社数 3社

(4) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) 0社 (除外) 0社 持分法(新規) 0社 (除外) 0社

2. セグメント別売上高及び営業利益

売上高	装置関連事業	電子デバイス事業	CMS事業
	百万円	百万円	百万円
19年第1四半期	3,379	1,053	2,603
18年第1四半期	2,878	876	1,684
18年3月期	11,657	3,409	8,878

営業利益	装置関連事業	電子デバイス事業	CMS事業	消去又は全社
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年第1四半期	389	9	62	22
18年第1四半期	230	23	44	11
18年3月期	1,142	329	465	67

【セグメント別売上高及び利益に関する補足説明】

<装置関連事業>

真空シールは、薄型TVの普及によりフラットパネル・ディスプレイ製造装置向けが堅調に推移したほか、半導体製造装置向けも受注が好転しました。石英製品は米国ユーザーからの受注が大きく伸びました。

一方、シリコン製品の単結晶インゴットは、原材料の供給が間に合わず若干の減収となりました。この結果、売上高は前年同期比17.4%増の33億79百万円となり、営業利益は生産革新プログラムの効果もあり、前年同期比69.1%増の3億89百万円となりました。

<電子デバイス事業>

サーモモジュールは、米国自動車メーカーの生産調整終了に伴い、主力の自動車温調シート向けが回復に転じたほか、半導体市場向けの売上が大きく伸びました。磁性流体は、小型スピーカー向けが好調に推移しました。FFB(磁性流体軸受)は、検査装置向けのサンプル出荷が始まりました。この結果、売上高は前年同期比20.4%増の10億53百万円となり、利益面では、FFBのサンプル費用、その他新製品の研究開発費負担等が継続し、営業利益は9百万円となりました。

<CMS事業>

期初予想したように太陽電池産業向け単結晶引上装置の受注に一服感はありましたが、中国への設備移管が終了した主力のシリコンウェーハ受託加工が堅調に推移したほか、部品洗浄等が増加しました。この結果、売上高は前年同期比54.6%増の26億3百万円、生産性の向上により営業利益は、前年同期比40.9%増の62百万円となりました。

3. 19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	12,600	680	400	280
通期	26,000	1,400	920	610

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)30円63銭

上記数値は公表されている通期見通しと同一であり、変更はありません。

なお、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

平成19年3月期 第1四半期 連結財務諸表

(1)連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	連結会計年度	科 目	連結会計年度
	平成18年6月30日		平成18年6月30日
	金額		金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	3,697,517	支払手形及び買掛金	2,885,344
受取手形及び売掛金	6,267,978	短期借入金	3,504,274
たな卸資産	3,299,540	一年内返済予定長期借入金	2,602,768
その他の	1,997,104	賞与引当金	92,805
貸倒引当金	139,440	その他の	2,226,230
流動資産合計	15,122,700	流動負債合計	11,311,423
固定資産		固定負債	
(1)有形固定資産		転換社債型新株予約権付社債	1,776,643
建物及び構築物	5,572,848	長期借入金	4,266,500
機械装置及び運搬具	7,860,467	退職給付引当金	23,882
工具器具備品	3,410,299	役員退職慰労引当金	115,949
減価償却累計額	6,785,870	その他の	575,251
土地	2,620,339	固定負債合計	6,758,228
建設仮勘定	891,392	負債合計	18,069,651
有形固定資産合計	13,569,476	(純資産の部)	
(2)無形固定資産		株主資本	
営業権	2,144,040	資本金	6,910,461
連結調整勘定	441,318	資本剰余金	7,784,251
その他の	674,548	利益剰余金	1,323,746
無形固定資産合計	3,259,908	自己株式	160,112
(3)投資その他の資産		株主資本合計	15,858,346
投資有価証券	1,578,651	評価・換算差額等	
その他の	2,451,732	その他有価証券評価差額金	500,617
貸倒引当金	680,856	為替換算調整勘定	796,148
投資その他の資産合計	3,349,528	評価・換算差額等合計	1,296,765
固定資産合計	20,178,912	少数株主持分	76,849
資産合計	35,301,613	純資産合計	17,231,961
		負債及び純資産合計	35,301,613

(2)連結損益計算書 (単位：千円)

科 目	連結会計年度	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日
	金額	
売 上 高		7,036,599
売 上 原 価		5,128,527
売 上 総 利 益		1,908,071
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,470,211
営 業 利 益		437,859
営 業 外 収 益		44,511
営 業 外 費 用		188,807
経 常 利 益		293,563
特 別 利 益		13,976
特 別 損 失		-
税金等調整前当期純利益		307,540
法人税、住民税及び事業税等		113,450
少数株主利益		10,373
当 期 純 利 益		183,716

(3)連結剰余金計算書 (単位：千円)

科 目	連結会計年度	自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日
	金額	
(資本剰余金の部)		
資 本 剰 余 金 期 首 残 高		7,784,251
資 本 剰 余 金 期 末 残 高		7,784,251
(利益剰余金の部)		
利 益 剰 余 金 期 首 残 高		1,299,361
利 益 剰 余 金 増 加 高		
当 期 純 利 益		183,716
利 益 剰 余 金 減 少 高		
配 当 金		159,331
利 益 剰 余 金 期 末 残 高		1,323,746